



〈鶴ヶ島市立藤中学校だより 第6号〉

学校教育目標

ともに学び、未来を拓くたくましい生徒の育成

藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

〈目指す生徒像〉

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切にする生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

令和8年8月28日 校長 竹田 聡

＜2学期のスタートにあたり＞

夏季休業中、ご多用のところ3者面談にご協力いただきありがとうございました。対面での話し合いにはメールやSNSにはない「よさ」があります。これからも、お子さんのよりよい成長のために、大切なことは対面をお願いします。また、「心と体の健康観察」につきましては、お子さんの回答を踏まえ、適宜対応いたします。

今日から2学期が始まります。活力ある学校生活には、十分な睡眠と朝食をしっかり摂ることが大切です。引き続き、ご家庭のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

＜2学期始業式 代表のことば＞

1学年代表

夏休みが終わり、今日から2学期がはじまります。中学校に入学してからあつというまに5ヶ月が経ち、私達は中学校生活にも少しずつ慣れてきました。そこで私は、2学期をより充実したものにするために、3つの観点から目標を立てました。

1つ目の目標は、日々の学習と生活の中で、「メリハリ」をつけることです。1学期の期末テストのとき、私は普段なら寝ているはずの時間まで勉強をし、睡眠時間が減ってしまいました。その結果、毎日の生活リズムが崩れ、日中の集中力が落ちてしまいました。そして、テスト本番では、1学期の中間テストのときに解けていたはずの問題でミスをしてしまい悔しい思いをしました。この反省を活かし、2学期はテスト直前に慌てるのではなく、毎日の予習、復習をコツコツと計画的に進めます。睡眠時間を削るような無理な勉強はせず、規則正しい生活リズムをしっかりと整えた上で、万全の状態でテストに挑みたいと思います。

2つ目の目標は2学期の行事に全力で取り組むことです。2学期には文化祭や合唱祭といった、中学校ならではの大きな行事が控えています。これらは、クラスや学年の仲を深める絶好のチャンスです。準備の段階からクラスの仲間と積極的に声を掛け合い、一人ひとりが自分の役割を果たしながら全員で協力し、一つのものを作り上げたいです。小学生の時とは違い、中学校の行事は自分たちが中心となって計画し、作り上げていく場面が多くなると思います。その分うまくいかないことがあるかもしれません。しかし、そんなときにはみんなで声を掛け合って乗り越えることで、クラスが一つになれるはずです。ただ楽しむだけで終わらず、クラス全員で本気になって取り組み、最後には「このクラスでよかった」と全員が笑顔で言い合えるような、最高の行事にしたいです。

3つ目の目標は、委員会の仕事や学級での役割に責任を持って取り組むことです。1学期は、自分のことで精いっぱいになり、係の仕事を忘れてしまうことがありました。2学期は、自分がやるべきことを忘れず、最後まで責任をもってやり遂げます。また、自分のことだけでなく、学級委員として

クラス、学年全体の様子にもしっかりと意識を向けていきます。2学期は周りの様子をよく見て、困っている人がいたら自分から積極的に声をかけ、みんなが安心して楽しく過ごせるクラスを作れるように頑張ります。

私は、この3つの目標を意識しながら、自分のやるべきことに責任を持ち、周りの仲間と助け合いながら、この2学期を実りのあるものにしていきます。文化祭などの行事を通して、クラスや学年のみんなが「このクラスでよかった」と笑顔で言えるような、最高の2学期にしたいです。そのために、私は学級委員として、これから先も学年を引っ張って行きたいと思います。

2学年代表

長い夏休みが終わり、1年の中で最も長い2学期が始まりました。みなさんは、充実した夏休みにすることができましたか。僕は、家族と出かけたり、部活動に打ち込んだり、充実した夏休みにすることができました。

夏休みを終え、2学期の生活を充実させるために、3つ目標を立てました。

1つ目は、勉強です。今までの自分は、時間の使い方がうまくいかず、苦手な教科がおそろかになってしまいました。そのため2学期は、苦手教科の復習時間を増やしたいと思っています。また、テストに向けて計画的に学習を進めることができていなかったと思うので、しっかりと計画を立て、自分が立てた計画通りに勉強を進めて、結果を出していきたいと思っています。

2つ目は、部活動についてです。僕はこの夏からサッカー一部に入りました。新しい環境になり、慣れないことがたくさんありましたが、仲間と楽しくサッカーができ、チームの一員としてやりがいを感じています。9月には初めての公式戦があります。よい結果が残せるように頑張りたいと思います。よい結果を残すために日々の練習から仲間とのコミュニケーションを大切にしたいと思います。

3つ目は、生活面についてです。僕は日々の生活に計画性がなく、勉強にも響いてしまいました。2学期からは生活習慣を整え、中学2年生としてふさわしい生活をつくっていききたいと思います。また、課題の期限を守るなど、やるべき

ことにしっかりと取り組み、メリハリのある学校生活を送っていききたいと思います。

僕は、1学期の学校生活を見直し、2学期の目標を立てましたが、クラスでも1学期の反省と2学期に向けての学級会を行いました。1学期の課題を改善できるようにみんなであって、明るく楽しいクラスをつくりましょう。そして、2学期の行事に向けて団結力を高めていきましょう。

3 学年代表

私の2学期の抱負は勉学と体調管理です。

私は1年生、2年生と続けて2年間あまり勉強をしていませんでした。3年生になっても始めはあまり勉強をせずに、行ける高校を探していました。しかし、ふと今一度「なぜ高校に行くのだろうか」と考えた時、3年間は勉強をするのだから面白いことをしたいと思い、吹奏楽部で全国へ行っている高校を探しました。結果として学力が足りないことが分かり、塾へ行くことにしました。実際に塾へ行ってみると成果が出てきて、今までキープしたことのない順位をキープすることができました。これからもこの順位をキープできるように勉強に励みたいと思います。

次に体調管理ですが、これからの行事と言えば文化祭と合唱祭です。文化祭では吹奏楽部の発表のため日々練習を続けています。私の吹奏楽部での担当楽器はホルンなのですが最近実力が伸び悩んでおり、練習してもなかなか成長ができずに悩んでいました。そんなときに私の第一志望である高校の部活体験があることを知り、予約をして楽しみにしていましたが、その部活体験の直前に軽い喉かぜを引いてしまいました。すぐにAIに最速でのかぜを治す方法を聞いたら、「10時間寝てください」と言われたのでそれに従い、保湿のためにマスクを付けたまま10時間寝ました。結果は大成功で喉風邪は治り、無事部活体験へ行くことができました。部活体験ではほぼ1対1で練習を付けてもらい、コンクールで演奏する楽曲の練習もしていただき、技術も向上することが出来ました。20年以上ホルンをふいている母にも、私を超えたと言われとても嬉しかったのですが、そこで学んだことは技術を習得するにも体が資本であるということです。

合唱祭では、私は1年生の時、クラスで最優秀賞を受賞することができました。しかし、2年生では合唱祭直前にかぜをひいてしまい、合唱祭に出ることができませんでした。3年生ではこの反省を生かして、体調管理をしっかりとすることにします。まず手洗いを食事の前に必ずすること、歌っている時も喉の調子を常に確認しておくなど、私が風邪を引くトリガーとなる喉を中心に風邪をひかないように気を付けていきます。

<生徒の活躍>

吹奏楽部 埼玉県吹奏楽コンクール地区大会 中学生Aの部 銅賞

【学校総合体育大会県大会(個人入賞のみ)】

剣道部男子 団体5位 ソフトボール部(坂戸部中・中と合同) ベスト8 女子テニス部 団体ベスト8

男子テニス部 団体初戦惜敗 個人 5位1組 バレーボール部 2回戦惜敗

陸上競技部 男子 800m 1位 8位 3000m 1位

女子 100mH 1位

水泳競技 女子 200m背泳ぎ 3位 100m背泳ぎ 7位

【関東大会出場・入賞】 男子テニス部個人 初戦惜敗

陸上競技部 男子 3000m 2位 800m 5位 女子 100mH

水泳競技 女子 200m背泳ぎ 1位 100m背泳ぎ 3位

【全国大会出場・入賞】 陸上競技部 男子3000m 5位 男子800m 2名

<お知らせ> 陸上競技部の顧問が1名増えます。

3年生にとって2学期はとても長く感じる学期となると思います。夏秋冬と変わる季節に体調にも気をつけて、勉学に励んでいきましょう。

<校長の言葉(抄)>

1学期の終業式で、「時は金なり」と話しました。40日の夏休みを「浪費」せず、自分に「投資」をできたでしょうか。時間の使い方は誰にでも共通する課題です。よかった点は継続し、思い通りにできなかったことは、自分に合った方法が見つかるように、改善を続けてください。

私は夏休みに鶴ヶ島ロータリークラブで、「過去・現在・未来の中学生の課題」をテーマに話をする機会をいただきました。そこで、私が考える中学生の未来の課題を5点挙げました。

1つ目は、「選択して学び続けること」です。好きなこと、得意なことは納得できるまで学び、苦手なことはツールを活用して補います。ただし、ツールは便利だけではなく、危険性も理解して、活用する必要があります。

2つ目は、「自己決定・自己責任」です。自分で決めたことに挑戦し、失敗を生かして、成功することが重要です。成功することを通して、自己肯定感が育ちます。

3つめは「コミュニケーション能力」です。特に考えの違う人と接し、自分の考えを伝えることです。その際、相手が不快に感じないように、考え方の違いを伝えたり、時には否定したりすることです。

4つめは、「世界の中の日本」を学ぶことです。近年、物価が上がっています。これは日本だけでは解決できないことです。様々な問題をグローバルな観点で考え、互いにプラスになる“WinWin”の関係づくりを学ぶことが大切です。

5つめは、「40才の迎え方」です。40才は「不惑」、人生の中間点、社会の中核をなす年齢です。中学生の皆さんには遠い先の話ですが、40才になったとき、健康と人に恵まれて、自立していることが大切です。そこを目標に、勉強やスポーツ・芸術に打ち込むことだと思います。

2学期のスタートにあたり、3つの行動を期待します。1つ目は切り替えをしましょう。姿勢やあいさつ、返事など、雰囲気づくりが大切です。2つ目は、健康で安全な生活を心がけましょう。まだ暑い日が予想されますので、熱中症に注意すること、日没が早くなりますので、安全に気をつけて下校しましょう。3つめは、見通しをもってスタートしましょう。2学期は各学年の要の学期です。また、文化祭、合唱祭など、行事は上級生が手本です。下級生は上級生をよく見て、上級生は下級生に範を示してください。藤中生1人1人が着実に成長する2学期となることを期待しています。